

「稲わら早期すき込み」のお願い

**稲わらは水路等に流れ込まないように
早めにすき込みしてください！！**



大雨により、稲刈り後の稲わらが水路等に大量に流れ込むと、
下流域に深刻な影響を与えますので、ご協力をお願いします。

稲刈り後の稲わらをそのままにしておくと、台風など大雨が降ったときに、側溝や水路に詰って浸水被害を拡大させたり、また下流域で稲わらが堆積し回収作業に追われることが多くあります。

このようなことから、被害を最小限に食い止めるため、稲わらは早期にすき込みしていただきますようお願いします。

稲わらの早期すき込みには、

田んぼにとってこんなメリットもあります！！

稲わらは土と混ぜることで分解が進みます。地表に置いたままですと、乾燥したり、土との接触がないため分解が進みません。

収穫後は、乾燥・調製などで忙しい時期ですが、できるだけ早期にすき込みをしてください。

◆稲わらのすき込みによる地力増進効果

土壌の保水性が向上し、有機物やケイ酸などが土壌還元されます。

◆早期すき込みによる効果

気温が高いほうが稲わらの分解は早く進みます。
分解が早く進むことで、次の効果があります。

- 水路などの流出抑制
- 浮きわらの抑制
- 根腐れの原因となるガスの発生抑制
- こぼれ粃による品質低下の抑制
- 雑草繁殖の低減 など

